



2020年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社
 コード番号 1994 URL <https://www.t-cw.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 武治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 市川 尚

TEL 03-3271-1711

定時株主総会開催予定日 2021年3月30日

配当支払開始予定日

2021年3月31日

有価証券報告書提出予定日 2021年3月31日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期の連結業績(2020年1月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	7,367	56.1	838	66.8	914	64.9	902	27.4
2019年12月期	16,765	155.2	2,522	209.1	2,605	189.4	1,242	73.7

(注) 包括利益 2020年12月期 897百万円 (28.0%) 2019年12月期 1,246百万円 (76.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	103.99		9.7	6.7	11.4
2019年12月期	142.25		14.7	17.9	15.0

(参考) 持分法投資損益 2020年12月期 百万円 2019年12月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	12,685	9,630	75.9	1,115.24
2019年12月期	14,569	8,996	61.7	1,029.86

(参考) 自己資本 2020年12月期 9,630百万円 2019年12月期 8,996百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	95	213	724	1,912
2019年12月期	2,890	396	212	2,946

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期		15.00		15.00	30.00	262	21.1	3.1
2020年12月期		10.00		13.00	23.00	199	22.1	2.1
2021年12月期(予想)		15.00		10.00	25.00		20.2	

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,500	148.2	1,380	324.3	1,430	312.4	930	151.8	107.70
通期	11,000	49.3	1,600	90.9	1,650	80.5	1,070	18.6	123.91

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期	9,553,011 株	2019年12月期	9,553,011 株
期末自己株式数	2020年12月期	917,815 株	2019年12月期	817,814 株
期中平均株式数	2020年12月期	8,676,824 株	2019年12月期	8,735,197 株

(参考)個別業績の概要

2020年12月期の個別業績(2020年1月1日～2020年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	7,301	56.3	825	67.5	900	65.4	889	28.5
2019年12月期	16,708	156.2	2,539	203.9	2,604	177.1	1,242	74.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期	102.46	
2019年12月期	142.25	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年12月期	12,600		9,634		76.5		1,115.70	
2019年12月期	14,496		9,013		62.2		1,031.83	

(参考) 自己資本 2020年12月期 9,634百万円 2019年12月期 9,013百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページの「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、大幅に下押しされて厳しい状況で推移しました。経済活動に一時期持ち直しの兆しも見られましたが、再び感染拡大が深刻化しており個人消費の落ち込みや海外景気の悪化が懸念されるなど、先行き不透明な状況となっております。

このような状況の下、当建設業界におきましては、さまざまな業種で、仕事量が減少してきました。PCカーテンウォール業界においても、昨年から受注量、生産量ともに低迷が続いておりますが、当社におきましては、当第4四半期はやや生産量が回復したため、工場稼働率が上がっております。

プールを手掛けるアクア事業では、主力である学校やスポーツクラブに加え、PCカーテンウォール事業で関わった都市型高級ホテルのプール等の工事拡大を図っております。

この結果、当連結会計年度における当社企業グループの業績は売上高73億67百万円(前連結会計年度比56.1%減)、営業利益8億38百万円(前連結会計年度比66.8%減)、経常利益9億14百万円(前連結会計年度比64.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益9億2百万円(前連結会計年度比27.4%減)となりました。なお、受注高は79億13百万円(前連結会計年度比11.8%減)、受注残高は117億52百万円(前連結会計年度末比4.9%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①PCカーテンウォール事業

昨年から受注量、生産量ともに低迷が続いており、比例して売上が大幅に落ち込みました。一方、顧客の製品形状変更、追加依頼などに真摯に対応して、追加売上を獲得し、また工場を中心に懸命のコストダウンを図り、収益を確保しています。当セグメントの売上高は68億11百万円(前連結会計年度比57.9%減)、セグメント利益は8億1百万円(前連結会計年度比67.9%減)となりました。なお、売上のトレンドに季節性はありません。

②アクア事業

学校関連、フィットネスクラブ及びホテルのプールの新設・改修が順調に進んだため、当セグメントの売上高は4億88百万円(前連結会計年度比5.6%減)、セグメント利益は37百万円(前連結会計年度比19%減)となりました。

③その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

当セグメントの売上高は67百万円(前連結会計年度比16.9%増)、セグメント損失は0百万円(前連結会計年度は17百万円のセグメント損失)となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症が建設業界に本格的に影響を与える時期は、飲食やインバウンド関連に比べて数年遅くなることが予想されており、現時点では当社の業績にはさほど影響を与えておりません。しかし、長期的には景気の低迷が建設需要を下押しすることはほぼ確実と認識しております。また、東京五輪が1年延期されたことで、五輪後に計画されていたプロジェクトの始動が遅れる可能性があること、テレワーク普及に伴いオフィスビル需要の低下の可能性があることが懸念されております。これらはカーテンウォール業界、プール業界双方にマイナスの影響があることが予想されております。

マイナス要因は多々ありますが、安定した財務基盤のある当社は、従来と変わらず着実に人員強化をすすめ、また、腰を据えた素材/技術研究や工場内の展示スペースの拡充によるPR力向上につとめ、景気が再び浮揚する際は、より多くの顧客からのリクエストをさらに幅広く対応できる態勢をつくれるように努力を重ねる所存であります。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産の状況

当連結会計年度末における資産合計は126億85百万円と前連結会計年度末と比較して12.9%、18億83百万円の減少となりました。これは主に、現金預金が10億34百万円、受取手形・完成工事未収入金等が9億87百万円減少したことによるものであります。

②負債の状況

当連結会計年度末における負債合計は30億55百万円と前連結会計年度末と比較して45.2%、25億18百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が8億79百万円、その他流動負債が4億40百万円、長期借入金が2億44百万円、役員退職慰労引当金が6億69百万円減少したことによるものであります。

③純資産の状況

当連結会計年度末における純資産合計は96億30百万円と前連結会計年度末と比較して7.1%、6億34百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により9億2百万円増加したことと、配当金の支払いにより2億17百万円減少したことにより6億84百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、主に売上債権の減少額13億45百万円、役員退職慰労引当金の減少額6億69百万円、法人税等の支払額8億86百万円により95百万円の資金減少（前連結会計年度は28億90百万円の資金増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出2億16百万円により2億13百万円の資金減少（前連結会計年度は3億96百万円の資金減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の返済による支出4億79百万円、配当金の支払額2億17百万円により7億24百万円の資金減少（前連結会計年度は2億12百万円の資金減少）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の期末残高は19億12百万円（前連結会計年度比35.1%減）となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期
自己資本比率(%)	60.5	63.0	54.9	61.7	75.9
時価ベースの自己資本比率(%)	51.8	51.6	35.5	46.8	37.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	1.7	1.4	12.8	0.5	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	43.4	53.4	9.1	328.1	—

(注) 1. 各指標の算出は以下の算式を使用しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

3. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

4. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

5. 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

(4) 今後の見通し

当社において工事進行基準を適用できる体制が整ったため、2021年度より工事進行基準で売上を計上します。

次期の見通しにつきましては、売上高は110億円（前連結会計年度比49.3%増）、営業利益16億円（前連結会計年度比90.9%増）、経常利益16億50百万円（前連結会計年度比80.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益10億70百万円（前連結会計年度比18.6%増）を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の配当の基本方針といたしましては、将来の成長を展望した企業体質の強化、並びに積極的な事業展開に必要な内部留保の確保に配慮しつつ、安定的な配当額を加味しながら、株主の皆様への利益還元を心がけております。

具体的には、年間20円配当を安定的に行うことを基本とし、最近の業績動向等を勘案して、それ以上の配当額を目指すことを基本方針としています。

また内部留保につきましては、当社企業グループの競争力の維持・強化による収益力向上を図るための設備投資・開発研究等有効に活用する方針であります。

当期の期末配当につきましては、1株当たり期末配当金を従来予想通り13円となる予定です。これにより実施済みの中間配当金10円と合わせた年間配当金は1株当たり23円となる予定です。

次期の配当につきましては、2021年度は売上・利益が大幅に増大する見込みにより、年間配当金は1株当たり25円と考えております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社企業グループは、現在海外での活動がほとんどないことから、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,946,595	1,912,241
受取手形・完成工事未収入金等	1,491,222	503,929
電子記録債権	1,696,136	1,337,870
未成工事支出金	3,055,588	3,564,667
その他のたな卸資産	70,640	60,226
その他	59,881	62,777
流動資産合計	9,320,065	7,441,714
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	3,871,264	3,929,215
減価償却累計額	△3,217,824	△3,262,180
建物・構築物(純額)	653,439	667,034
機械、運搬具及び工具器具備品	2,347,470	2,408,606
減価償却累計額	△1,703,169	△1,830,660
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	644,301	577,946
土地	1,783,101	1,783,101
建設仮勘定	-	984
有形固定資産合計	3,080,842	3,029,067
無形固定資産	42,078	37,139
投資その他の資産		
投資有価証券	222,552	245,582
保険積立金	949,176	1,024,470
投資不動産(純額)	118,624	91,235
差入保証金	627,513	627,485
退職給付に係る資産	114,016	122,369
その他	111,476	80,799
貸倒引当金	△16,567	△14,077
投資その他の資産合計	2,126,792	2,177,866
固定資産合計	5,249,713	5,244,073
資産合計	14,569,779	12,685,787

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	466,576	441,305
電子記録債務	368,532	242,490
短期借入金	667,000	512,000
1年内償還予定の社債	60,000	-
未払法人税等	883,174	4,098
未成工事受入金	779,921	934,478
完成工事補償引当金	5,760	890
賞与引当金	53,044	47,216
工事損失引当金	86,600	27,500
その他	620,312	179,457
流動負債合計	3,990,921	2,389,436
固定負債		
長期借入金	630,000	386,000
役員退職慰労引当金	869,525	199,596
その他	83,326	80,422
固定負債合計	1,582,851	666,018
負債合計	5,573,773	3,055,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,363	3,283,363
利益剰余金	5,803,679	6,488,123
自己株式	△238,430	△283,848
株主資本合計	8,948,612	9,587,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,393	42,693
その他の包括利益累計額合計	47,393	42,693
純資産合計	8,996,005	9,630,332
負債純資産合計	14,569,779	12,685,787

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高		
完成工事高	16,765,720	7,367,436
売上原価		
完成工事原価	13,448,669	5,733,812
売上総利益		
完成工事総利益	3,317,051	1,633,623
販売費及び一般管理費	794,537	795,356
営業利益	2,522,513	838,267
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,674	13,503
投資有価証券売却益	7,095	0
投資不動産賃貸料	5,827	11,176
受取家賃	13,218	11,392
鉄屑売却収入	47,071	25,497
貸倒引当金戻入額	-	2,490
その他	22,006	26,341
営業外収益合計	97,893	90,401
営業外費用		
支払利息	7,836	6,358
社債利息	425	99
社債保証料	960	224
不動産賃貸費用	2,842	5,646
その他	2,679	2,186
営業外費用合計	14,744	14,515
経常利益	2,605,662	914,152
特別利益		
固定資産売却益	799	1,771
移転補償金	-	35,642
特別利益合計	799	37,413
特別損失		
固定資産除却損	4,833	12,164
役員退職慰労引当金繰入額	390,454	-
特別損失合計	395,287	12,164
税金等調整前当期純利益	2,211,175	939,401
法人税、住民税及び事業税	999,550	7,432
法人税等調整額	△30,970	29,688
法人税等合計	968,579	37,120
当期純利益	1,242,595	902,280
親会社株主に帰属する当期純利益	1,242,595	902,280

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益	1,242,595	902,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,298	△4,699
その他の包括利益合計	4,298	△4,699
包括利益	1,246,894	897,581
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,246,894	897,581

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	100,000	3,283,363	4,779,463	△238,430	7,924,396	43,094	43,094	7,967,490
当期変動額								
剰余金の配当			△218,379		△218,379			△218,379
親会社株主に帰属する当期純利益			1,242,595		1,242,595			1,242,595
自己株式の取得					-			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-	4,298	4,298	4,298
当期変動額合計	-	-	1,024,215	-	1,024,215	4,298	4,298	1,028,514
当期末残高	100,000	3,283,363	5,803,679	△238,430	8,948,612	47,393	47,393	8,996,005

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	100,000	3,283,363	5,803,679	△238,430	8,948,612	47,393	47,393	8,996,005
当期変動額								
剰余金の配当			△217,836		△217,836			△217,836
親会社株主に帰属する当期純利益			902,280		902,280			902,280
自己株式の取得				△45,417	△45,417			△45,417
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-	△4,699	△4,699	△4,699
当期変動額合計	-	-	684,444	△45,417	639,026	△4,699	△4,699	634,326
当期末残高	100,000	3,283,363	6,488,123	△283,848	9,587,638	42,693	42,693	9,630,332

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,211,175	939,401
減価償却費	272,489	253,268
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	-	△2,490
固定資産除却損	3,144	3,472
固定資産売却損益 (△は益)	△799	△1,771
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	409,513	△669,929
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	4,540	△4,870
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	72,300	△59,100
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,166	△5,828
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△13,031	△8,353
受取利息及び受取配当金	△2,674	△13,503
投資有価証券売却損益 (△は益)	△7,091	0
支払利息	7,836	6,358
社債利息	425	99
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,527,909	1,345,558
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	3,568,058	△509,079
その他のたな卸資産の増減額 (△は増加)	22,661	10,414
保険積立金の増減額 (△は増加)	△38,449	△75,294
その他の資産の増減額 (△は増加)	285,718	△5,448
仕入債務の増減額 (△は減少)	△459,246	△151,312
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△2,001,238	154,556
その他の負債の増減額 (△は減少)	420,186	△421,468
小計	3,232,774	784,682
利息及び配当金の受取額	2,687	13,515
利息の支払額	△8,810	△7,231
法人税等の支払額	△336,154	△886,816
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,890,496	△95,849
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△400,535	△216,664
有形固定資産の売却による収入	800	-
無形固定資産の取得による支出	△8,375	△2,016
投資不動産の売却による収入	-	28,689
投資有価証券の取得による支出	△83,269	△30,216
投資有価証券の売却による収入	88,896	0
貸付けによる支出	△2,200	△100,000
貸付金の回収による収入	8,203	106,350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△396,480	△213,857

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000	-
長期借入れによる収入	550,000	80,000
長期借入金の返済による支出	△392,000	△479,000
社債の償還による支出	△100,000	△60,000
建設協力金の返済による支出	△2,520	△2,520
自己株式の取得による支出	-	△45,417
配当金の支払額	△218,181	△217,708
財務活動によるキャッシュ・フロー	△212,701	△724,646
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,281,315	△1,034,353
現金及び現金同等物の期首残高	665,280	2,946,595
現金及び現金同等物の期末残高	2,946,595	1,912,241

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当社企業グループは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについては、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。

新型コロナウイルス感染症拡大が当社企業グループの業績に与える影響は軽微であり、当連結会計年度以降も重要な影響がないという仮定に基づき会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響は、不確定要素が多く、今後の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社企業グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社企業グループは、顧客に提供する製品・サービスの特性をベースとして構成した、「PCカーテンウォール事業」、「アクア事業」の2つを報告セグメントとしております。

「PCカーテンウォール事業」は、主としてオフィスビルの外壁の設計・製造・施工を行っております。

「アクア事業」は、ホテル・学校・スポーツ施設のプールならび各種温浴施設などの水施設・水空間・水環境の企画提案・設計・施工を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	PCカーテンウ ォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	16,190,768	517,128	16,707,897	57,823	16,765,720	—	16,765,720
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	16,190,768	517,128	16,707,897	57,823	16,765,720	—	16,765,720
セグメント利 益又はセグメ ント損失(△)	2,493,559	45,960	2,539,520	△17,006	2,522,513	—	2,522,513
セグメント資 産	9,722,519	331,152	10,053,672	116,808	10,170,480	4,399,298	14,569,779
その他の項目							
減価償却費	268,607	—	268,607	3,312	271,919	570	272,489
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	325,136	—	325,136	—	325,136	—	325,136

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)を含んでおります。
- 2 調整額は以下のとおりであります。
- (1) セグメント資産の調整額4,399,298千円は、セグメント間債権債務消去26,849千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産4,443,342千円が含まれており、その主なものは提出会社での余資運用資金等であります。
- (2) 減価償却費の調整額570千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
- 3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	PCカーテンウ ォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	6,811,729	488,125	7,299,854	67,581	7,367,436	—	7,367,436
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,811,729	488,125	7,299,854	67,581	7,367,436	—	7,367,436
セグメント利 益又はセグメ ント損失(△)	801,118	37,218	838,337	△69	838,267	—	838,267
セグメント資 産	9,065,101	79,584	9,144,686	114,762	9,259,448	3,426,338	12,685,787
その他の項目							
減価償却費	249,426	—	249,426	3,371	252,797	470	253,268
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	198,599	—	198,599	740	199,339	—	199,399

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)を含んでおります。
- 2 調整額は以下のとおりであります。
- (1) セグメント資産の調整額3,426,338千円は、セグメント間債権債務消去25,300千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産3,455,583千円が含まれており、その主なものは提出会社での余資運用資金等であります。
- (2) 減価償却費の調整額470千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
- 3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり純資産額	1,029円86銭	1,115円24銭
1株当たり当期純利益	142円25銭	103円99銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,242,595	902,280
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,242,595	902,280
普通株式の期中平均株式数(株)	8,735,197	8,676,824

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2019年12月31日)	当連結会計年度末 (2020年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	8,996,005	9,630,332
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	8,996,005	9,630,332
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末 の普通株式の数(株)	8,735,197	8,635,196